



2011-12年度年次報告

国際ロータリー



ロータリー財団

ドイツのミュンヘンで約400キロメートルに渡る自転車レースを開催し、ポリオ撲滅のための募金活動と認識向上の取り組みを行ったロータリアンと支援者。





国際ロータリーとロータリー財団

2011-12年度年次報告

会長と管理委員長からの
メッセージ

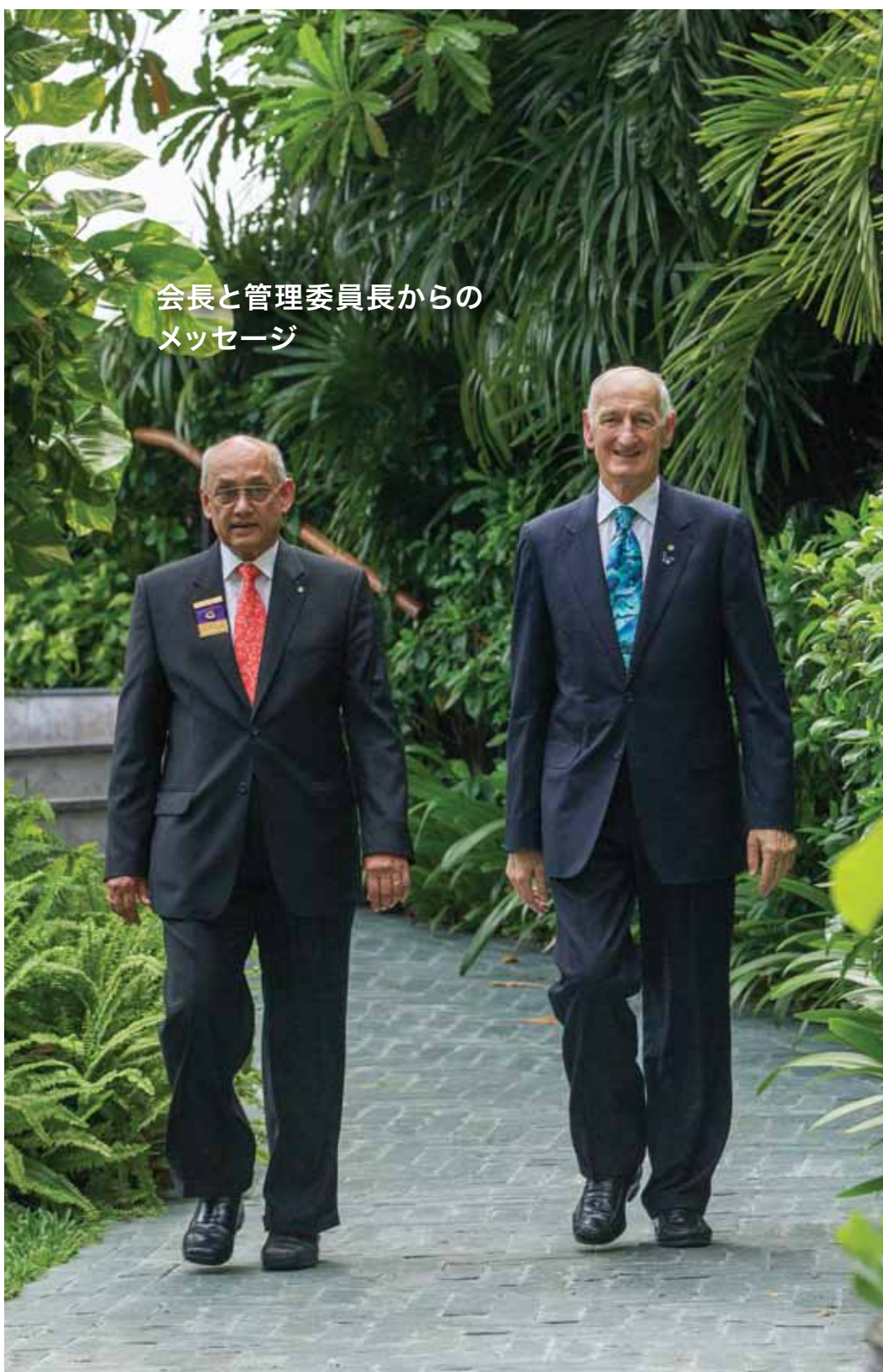


PHOTO BY ALYCE HENSON

大きな達成を遂げた一年

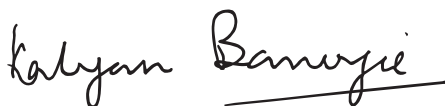
2011-12年度は、ロータリーの継続性を考える上で変革の一年となりました。「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のテーマを実践し、また「世界でよいことをしよう」と活動を続けてまいりました。この年次報告書では、助けを必要とする人々を支援し、生活の質を向上させるため、世界120万人のロータリアンが活動した一例をご覧ください。

ポリオ撲滅活動では非常に大きな進展が見られました。1月13日、インドでは1年間、ポリオ無発生が達成され、歴史的な快挙を果たしました。インドは長い間、ポリオ撲滅が難しいとされてきた国です。しかし、今ではポリオ常在国のリストから除外され、残る常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンを残すのみとなりました。

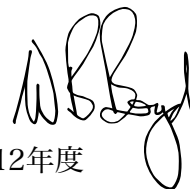
同じく1月、ポリオ撲滅のための「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」では、予定よりも6カ月早く、目標額を達成することができました。世界中のロータリアンやロータリー支援者からの寛大なご支援により、チャレンジ期間の最終日である6月30日までに2億2,800万ドルを集めることができました。こうした進展を弾みとして、ロータリーはこれからも世界のポリオ撲滅活動を先導していきます。

2011-12年度中、私たちは、未来の夢の新しい補助金モデルとRI戦略計画を通じて、未来を見据えた取り組みを行ってきました。斬新かつ効果的な方法で活動ができるよう、マーシーシップス、ユネスコ水教育研究所、シェルター・ボックス、グローバル・フードバンキング・ネットワーク、ユース・サービス・アメリカ (YSA) といった団体と新たな協力関係を結びました。また、世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) のパートナー組織 (世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフ)、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、米国国際開発庁、アガ・カーン大学、オイコクレジット、グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル、ドリーウッド財団の「イマジネーション・ライブラリ」、国際読書協会、ロータリー平和センター提携大学との協力関係を強化することで、さらに充実した人道的奉仕活動の基盤を作りました。

私たちロータリアンが力を合わせて積み上げた成果を誇りとし、次年度も、「奉仕を通じて平和を」実現するために努力してまいりましょう。



2011-12年度
国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー



2011-12年度
ロータリー財団管理委員長
ウィリアム B. ボイド

世界で活躍するロータリー



PHOTO BY MONIKA LOZINSKA

米国「チャンピオンズ・オブ・チェンジ」を受賞

4月20日、ワシントンD.C.の大統領官邸にて、米国のロータリアン10名が、地元や海外における模範的な人道的活動を称えられ、表彰を受けました。1日かけて行われた表彰行事には、160名以上のロータリアンが出席し、母子の健康、疾病予防、経済発展、青少年と教育、水と衛生、平和構築といったトピックについて米国政府担当者からの報告と説明を受けました。



アフガニスタン大統領との会談

カルヤン・バネルジーRI会長は、アフガニスタンのハミド・カルザイ大統領にポリオ撲滅活動への支援を称えるメダルを授与しました。RI会長がアフガニスタンを訪れるのは、今回が初めてです。45分間の会談の中で、バネルジー会長とカルザイ大統領は、インドにおける活動の教訓をアフガニスタンでも生かせるよう話し合いました。



PHOTO BY MCPL DANY VIELLETTE, RIDEAU HALL

英国王室からの招待

ローターアクターのアンドレア・ティローンさん、インターアクターのキアラ・バリエさんなど120名の青少年と若者が、人道的奉仕への献身が認められ、英国のウィリアム王子とキャサリン夫人が出席する食事会に招待されました(カナダのオタワにて)。

2011-12年度会員統計



532 ロータリー地区

34,533 ロータリー・クラブ

1,227,189 ロータリアン

171,120 RCC参加者

7,440 RCC

ロータリー・クラブでは、男女を含むあらゆる年齢層の会員が、各自その才能やスキルを活かして、地元や海外で奉仕活動をしています。全世界の会員数は120万人に上り、専門職業人として互いに交流し、また自らの経験を基に、若い職業人を育てています。ロータリー地域社会共同隊 (RCC) を通じて、ロータリアン以外のボランティアも、奉仕プロジェクトに参加しています。

全世界のロータリアン (地域別)



北米とカリブ海諸島
379,425



ヨーロッパ
323,817



北アジア (日本と韓国を含む)
151,670



中南米
101,365



アフリカと西南アジア
35,511



南アジアと東南アジア
(インドを含む)
172,006



オーストラリア、
フィリピン、太平洋諸島
63,395



国際ロータリー

新世代

毎年、数多くの若者が、ロータリーを通じて国際的なネットワークに参加し、友好を深め、奉仕や活動に参加しています。ローターアクターやインターアクターは、地元や海外の地域社会のために活動しています。ロータリーの青少年交換では学生が異文化を体験し、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) では青少年が未来のリーダーとなるためのスキルを学んでいます。

毎年、**500,000**人の青少年や若者が
新世代プログラムに参加

ローターアクト

9,388クラブ

215,924人のローターアクター (18~30歳)

インターアクト

14,734クラブ

338,836人のインターアクター (12~18歳)

ロータリー青少年交換

80カ国から8,000人の学生 (14~19歳)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

25,000人の学生と若者



バンコク国際大会の直前に実施されたバンコク近郊での奉仕プロジェクトにて、洪水被害を受けた学校のペンキ塗りを手伝うアンドレア・ティローンさん（トロント大学ローターアクト・クラブ、カナダ）。

ロータリーだからできること

**ROTARY CLUB
OF MUYENGA
DISTRICT - 9200**



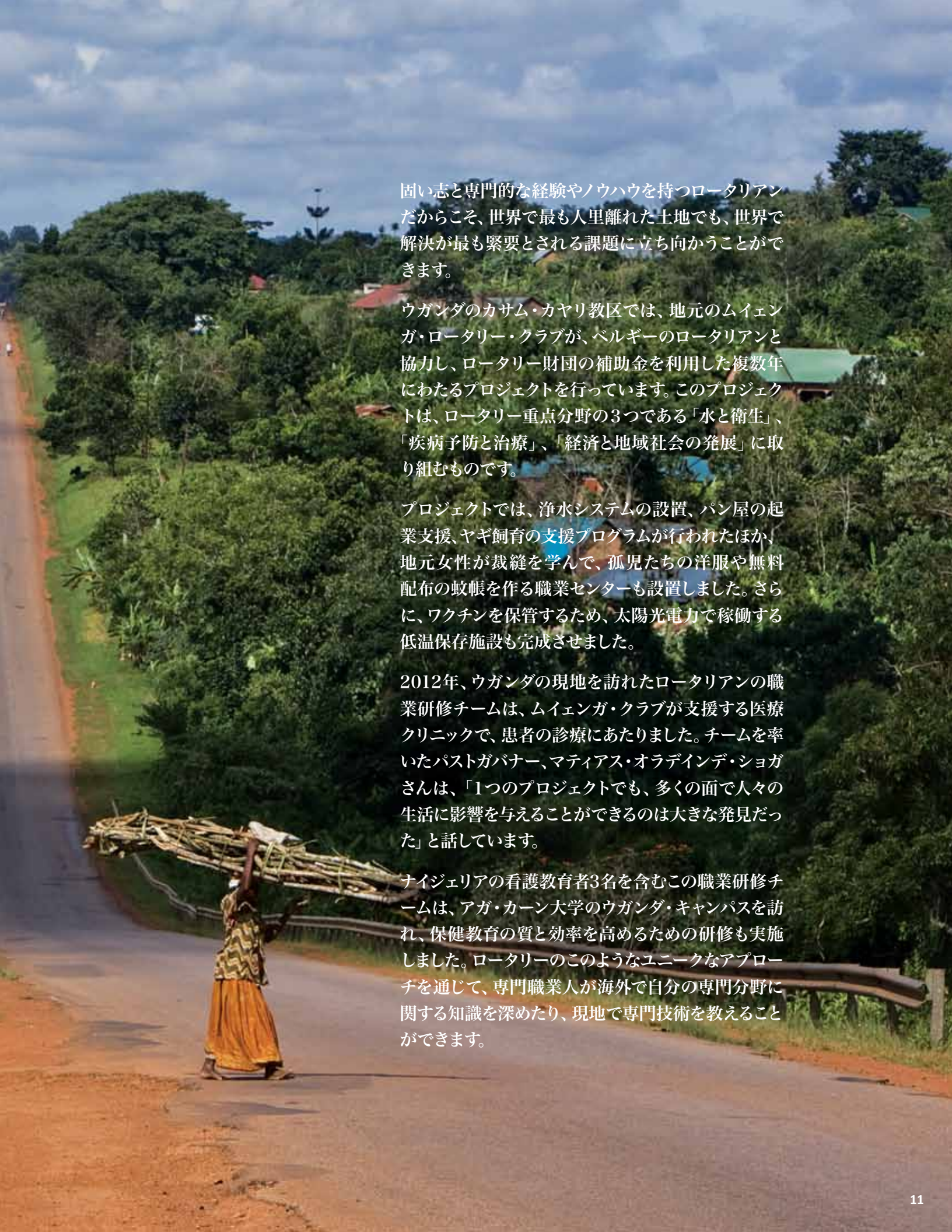
IN PROJECT -
KASAMU RIVALT
2006 - 2015
PROJECT

SPONSORED BY:
THE ROTARY CLUB OF
LUSAKA, N.S. 2006 - RESIDING
MOTWA, 885-0248

ROTARY AGAINST
**MALARIA
HUNGER
POVERTY.**

ARCHENIKI, LUANDA
ROTARY ADDRESS: 001
KUSAMU, N.S. 2006 - RESIDING
MOTWA, 885-0248

**BUJIG
C/U
PR.SCH.**




固い志と専門的な経験やノウハウを持つロータリアンだからこそ、世界で最も人里離れた土地でも、世界で解決が最も緊要とされる課題に立ち向かうことができます。

ウガンダのカサム・カヤリ教区では、地元のムイェンガ・ロータリー・クラブが、ベルギーのロータリアンと協力し、ロータリー財団の補助金を利用した複数年にわたるプロジェクトを行っています。このプロジェクトは、ロータリー重点分野の3つである「水と衛生」、「疾病予防と治療」、「経済と地域社会の発展」に取り組むものです。

プロジェクトでは、浄水システムの設置、パン屋の起業支援、ヤギ飼育の支援プログラムが行われたほか、地元女性が裁縫を学んで、孤児たちの洋服や無料配布の蚊帳を作る職業センターも設置しました。さらに、ワクチンを保管するため、太陽光電力で稼働する低温保存施設も完成させました。

2012年、ウガンダの現地を訪れたロータリアンの職業研修チームは、ムイェンガ・クラブが支援する医療クリニックで、患者の診療にあたりました。チームを率いたパストガバナー、マティアス・オラデインデ・ショガさんは、「1つのプロジェクトでも、多くの面で人々の生活に影響を与えることができるのは大きな発見だった」と話しています。

ナイジェリアの看護教育者3名を含むこの職業研修チームは、アガ・カーン大学のウガンダ・キャンパスを訪れ、保健教育の質と効率を高めるための研修も実施しました。ロータリーのこのようなユニークなアプローチを通じて、専門職業人が海外で自分の専門分野に関する知識を深めたり、現地で専門技術を教えることができます。



インドがポリオ常在国でなくなった現在も、
全世界でポリオの撲滅が証明される日まで、
すべての国で予防接種を
続ける必要があります

11月、インドのウッタールプラデシ州で実施された保健キャンプにて、子どもに経口ポリオ・ワクチンを投与する、第3700地区（韓国）のロータリアン。

重要な節目を迎えて： インドで1年間、ポリオ無発生

これまで大きな進展を遂げた世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) において、ロータリーは重要な役割を果たしてきました。2月には、世界保健機関 (WHO) により、インドがポリオ常在国リストから除外され、ポリオ撲滅活動の成果が実証されました。残る常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンです。

「世界中のロータリーの仲間から後押しを受け、インドのロータリアンは、長年休みなく活動し、何百万人という子どもたちに経口ポリオワクチンを投与する全国予防接種を支援してきました」と話すバネルジー会長。

「インドはポリオ撲滅まであとわずかなところまで来ています。インドをはじめ全世界でポリオがなくなるまで、国際ロータリーはその先頭に立ってポリオ撲滅に力を尽くします」とラジェンドラ K. サブー元RI会長も続けます。ポリオ撲滅の証明は地域ごとに行われます。地域内のすべての国で連続して3年以上、野生型ポリオウイルスの感染が絶たれたと実証された場合、その地域におけるポリオ撲滅が証明されます。

ロータリアンが募金目標額を達成

ポリオ撲滅を目指し、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からロータリー財団へ授与された

インド、グジャラート州、バーヴナガルで、ポリオ撲滅の推進活動に参加した子どもと米国のロータリアン。



PHOTO BY NICKI SCOTT

全国予防接種日に、ポリオ予防接種を受けるために集まってきたインド、デリーの人々。

3億5,500万ドルの補助金に対して2億ドルを上乗せする「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」では、世界中のロータリアンが協力し、目標を上回る額を集めることができました。2012年6月30日までに、2億2,800万ドル以上の寄付が集まりました。

ゲイツ財団の最高執行責任者であるジェフ・レイクス氏は、1月に行われたロータリーの国際協議会に出席し、「今回のロータリーの素晴らしい達成を称えるとともに、ロータリアンの皆さまのさらなるご健闘を願い、当財団は、さらに5,000万ドルの追加補助金をロータリーに授与することを決定しました。これにより、私たちのパートナーシップがさらに発展することを願っています」と話しました。さらに、レイクス氏は次のように続けました。「世界からポリオを撲滅する活動は、ロータリーが始めたものであり、これからも、民間による募金や草の根の参加を促し、ポリオ撲滅を各国政府の優先項目として掲げてもらうために、ロータリーが中心的な役割を果たしていくでしょう」。

ゲイツ財団からの新たな補助金5,000万ドルは、ロータリーからの上乗せ寄付を条件とするものではありません。ロータリー財団は、ポリオ感染が深刻な国々で予防接種活動を行うために、この5,000万ドルを主に、世界保健機関 (WHO) やユニセフへの補助金として配分します。

世界ポリオ緊急行動計画

全世界、特にポリオ常在国以外の国々でポリオ感染数は大幅な減少を見せていますが、いまだに資金不足の問題が残されており、予防接種の徹底化も緊急に求められています。こうした状況を受けて、2012-13年世界ポリオ緊急行動計画が立ち上げられました。

この行動計画は、インドでの成功を足掛かりに、残るポリオ常在国でもポリオを根絶できるよう予防接種の徹底化に力を入れるものです。WHOは、この計画を支援するため、5月に開かれた世界保健総会で、ポリオ撲滅を「世界公共保健プログラムの緊急事態」として宣言する決議を可決しました。

ロータリー財団管理委員会もこれと同様に、ポリオ撲滅が財団の緊急的最優先事項であること、またポリオ・プラスへの継続的な支援が必要不可欠であることを再確認しました。

アドボカシー活動にも注目

ロータリーと世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) のパートナー団体 (WHO、ユニセフ、米国疾病対策センター)、そしてビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、全世界のポリオ撲滅活動の資金を確保するために、各国政府へのアドボカシー活動 (働きかけ) の重要性を強調しています。

オーストラリアでは、ロータリアンと貧困撲滅を推進する団体「Global Poverty Project」が、署名運動を行いました。10月にGlobal Poverty Projectが主催したポリオ撲滅支援コンサート

でもこの運動を続け、パースで開催の英連邦首脳会議にてポリオ撲滅を会議の議題に盛り込むよう各国首脳に要請しました。その結果、オーストラリア、カナダ、ナイジェリア政府とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、合同で1億ドル以上をポリオ撲滅に寄付することを誓約しました。カナダのロータリアンも、政府からの支援を確保するために非常に重要な役割を果たしました。

ロータリーの国際ポリオ・プラス委員会、ロバート S. スコット委員長は、「すべての国でポリオ撲滅を最優先課題とし、活動資金を確保できるよう、ロータリーのリーダーは、主要ドナー国やポリオ感染国の首脳に協力を求め続ける」と話しています。



船外機付きボートで初のオーストラリア一周を成功させた、映画監督のゾロ・ガマーニックさん、キングストン・ロータリー・クラブ (オーストラリア) のロバート・ペニコットさん、ミック・ソーターさん。ポリオ撲滅のためのロータリーの2億ドルのチャレンジを支援する、250,000ドルの募金を集めました。

世界で活躍するロータリー

野田佳彦首相と会談した田中作次RI会長エレクト (当時)。ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅のため、日本政府から引き続きの支援を改めて確認しました。



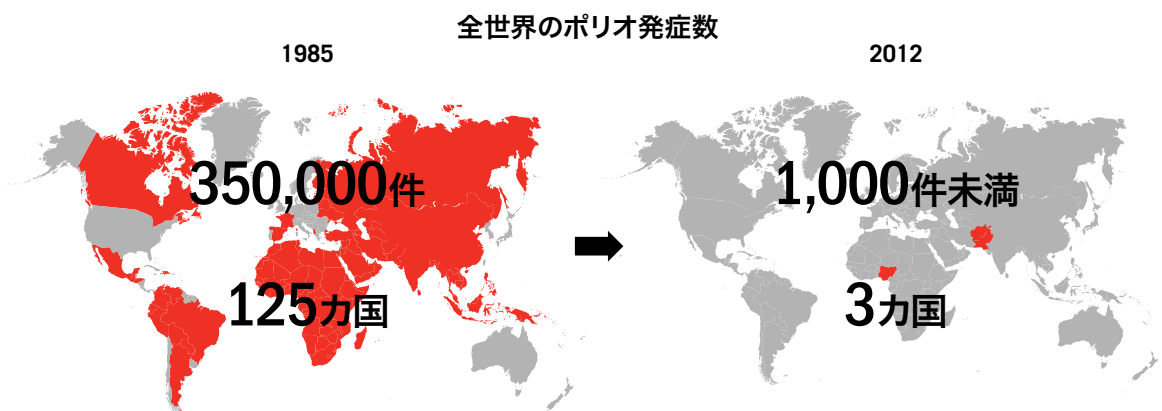
PHOTO BY NORIKO FUTAGAMI



インドでポリオを根絶する

第3201地区（ケララ州の一部、タミル・ナドゥ州）が実施した「全国ポリオ撲滅のための巡回キャンペーン（All India End Polio Now Road Show）」を通じて、インド、ネパール、ブータンでのポリオに対する認識を高

めました。12月11日、ケララ州での開催を皮切りに6人のロータリアンからなるグループが24州を回り、各地で政府の保健担当者と面会しました。2月14日、タミル・ナドゥ州を最後に、グループは推定18,500キロメートルの旅を終えました。



ロータリーがポリオ・プラス・プログラムを発足させて以来、全世界のポリオ感染数は99パーセント以上減少し、ポリオ常在国の数も史上最も少ない3カ国（アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン）のみとなりました。

ロータリーの 声



「ロータリアンとして、また、ポリオを経験した者として、これまでの進展を喜ばしく思います。将来、子どもたちがポリオに感染することのないよう、私たちにはまだ仕事が残されています」

ウルス・ハーツォグ、ポリオ・プラス国別提唱アドバイザー（スイス）
第1980地区パストガバナー

世界には、きれいな水が利用できない人が
10億人以上います。毎年、推定200万人が
水を介して感染する病により命を落としています



インド、ケララ州マクールにて、長年、高濃度のフッ化物が
含まれた水を摂取し続け、身体への影響を被った住人たち。



健康に良いきれいな水を

インド、ウッタル・プラデーシュ州パタリ村の住民は、飲料水に含まれる大量のフッ化物の影響に苦しんでいます。インドには、このようなフッ化物濃度の高い水を飲み続け、人体への悪影響を被る人々が2,500万人いると言われています。フッ化物によるフッ素沈着症は、エナメル質の斑点形勢や侵食を引き起こし、骨に影響が及ぶと、奇形、靭帯や腱の硬化、骨軟化症にまで発展します。

第1020地区（スコットランド）のバスターであるモーリス・ハリデーさんは、フッ化物の影響に苦しむ人々を支援するため、インドの第3110地区（インド）と協力し、ロータリー財団の補助金を利用して、パタリ村の60世帯にフッ化物除去フィルターを提供するプロジェクトを実施しました。ハリデーさんは、フッ

化物の影響について、「フッ化物は非常に強力で、歯を腐食させ、骨を破壊してしまう」と話します。この4万ドルの補助金プロジェクトにより、フィルターだけでなく、仮設トイレ、安全な飲み水、ウッタル・プラデーシュ州で2,300人の子どもたちが学ぶ8つの学校での衛生教育が提供されました。WHOの推定データによると、世界の疾病の約10分の1は、水供給、衛生、水源管理を改善すれば予防できるものです。インドでのこのプロジェクトのように、諸問題の解決には、各地域のニーズ調査に基づいたアプローチが重要です。



PHOTO BY ALLISON KWESELL

世界で活躍するロータリー

米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー世界本部を訪れた、インドの**グラム・ナビ・アザド保健相**。国際ポリオ・プラス委員会のロバート S. スコット委員長、カルヤン・バネルジーRI会長、ウィリアム・ボイド財団管理委員長をはじめ、ロータリーのリーダーや職員とともに、インドにおけるポリオ撲滅活動の進展について話し合いました。アザド保健相は「ロータリーの皆さんのおかげで我が国インドでは大きな進展がありました。心より感謝しています」と述べました。



PHOTO BY ALYCE HENSON

ロータリーの 声



「村中の人々がバケツやコップを手に井戸へ集まってきました。皆が息をのんで見守る中、長老が手押しポンプを動かすと、やがて水が流れ出し、歓声が沸き起こりました。大人も子どもも、村人たちの嬉しそうな笑顔を見たとき、それまでの苦勞が報われたことを実感しました」

ウォルター・ヒューズさん、ロッキーマウント・ロータリー・クラブ（米国バージニア州）、ガーナの村にきれいな水をもたらすため80のクラブが協力したプロジェクトに参加して。

予防可能な疾病により、5歳未満の子どもたちが毎日29,000人、
1分間に21人の割合で命を落としています

ウクライナ、オーストラリア、カナダ、米国のロータリアン
が設立したウクライナの小児心疾患センターでは、先天
性心疾患のある子どもたちに手術を提供しています。



子どもたちの命を救う

タンザニア、ダルエスサラーム近くに設置された母子のための保健センターでは多くの命が救われています。この保健センターは、李東建2008-09年度RI会長が子どもの死亡率の低下を強調事項の一つとしたことを受け、韓国とタンザニアのロータリアンが協力して、2011年に設けられました。55台のベッドを備え、完全装備の手術室、分娩室、X線室もあります。

同保健センターは、100万人以上が利用するツンビ病院の一機関となっています。以前は、この病院に十分な産科病棟がなく、母親たちは不衛生なベッドで出産しなければなりませんでした。

プロジェクトの資金は複数の財源を利用し、韓国のロータリアンから50万ドル、日本のロータリアンから15万ドル、ロータリー財団の補助金から19万ドルを集めたほか、慈善団体「Community Chest of Korea」と韓国国際協力団からも上乘せ寄付を得ました。ジャ

ヤンティラル・チャンデ元財団管理委員とダルエスサラーム・ノース・ロータリー・クラブのビル・バリさんを筆頭に、タンザニアのロータリアンがプロジェクトの実施を監督しました。

5月には、プロジェクトを通じて、同病院に2台の救急車が提供されました。



タンザニア、ダルエスサラーム近くの保健センターで母子と面会した韓国のロータリアン。プロジェクト資金として200万ドル以上を集めるため、韓国のロータリー・クラブが協力しました。プロジェクトを始めるきっかけとなったのは、李東建元RI会長（右端）の強調事項です。

世界で活躍するロータリー

世界ポリオデーの10月24日、ワシントンD.C.の国会議事堂にロータリアンとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団のビル・ゲイツ共同委員長が集まり、ポリオ撲滅への誓いを新たにしました。世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)を先導するロータリーの活動は、ポリオ以外にもマラリアや麻疹、きれいな水の不足といった世界の保健問題に取り組むためのモデルとなっています。



PHOTO BY ALLISON O'BRIEN

ロータリーの 声



「私たちの仕事は、地元の医師たちと会って、医療の質を高める方法を教えることです。最終的にはこれが継続的な成果をもたらすことを期待しています」

ルワンダで40万人が利用する病院の小児科医を務めるアレクサンドラ・ピノグラドさん。ピノグラドさんは、2000-01年度ロータリー国際親善奨学生としてベルギーへ留学し、またロータリー青少年交換学生としてドイツを訪れました。

12億人以上の貧しい人々は
読み書きができません。
識字と貧困には
密接な関係があります

2010年の大地震で22万人が死亡し、壊滅的な打撃を受けたハイチの復興を支援するため、ロータリー財団はハイチ大地震救済基金を設置しました。20カ国以上のロータリアンから200万ドルを上回る義捐金が寄せられた一方、現地のケイ・ロータリー・クラブ会員も中学校のコンピューター室設置に尽力しました。



人に投資する

第2450地区（アフリカの一部、中東、キプロス、グルジア）のバスター・ニジャド K. アル・アタッシさんは、職業奉仕の重要性を唱え、地区全体の最優先事項として掲げています。「価値観や倫理の大切さを教える職業奉仕はとても重要」とアタッシさんは話します。

「職業奉仕を地区の最優先事項とする」というアタッシさんの呼びかけに、エジプトのアレキサンドリア・スポーツ・ロータリー・クラブが応えました。このクラブは、小口融資、識字率向上のための読み書き教室、裁縫クラスなど、低所得の人々、特に職のない女性を対象とした活動を始めました。

屋台や清掃のビジネスの立ち上げ資金として、約85米ドルを、20人に融資しました。この融資は、1年間かけて分割で返済され、返済された資金を次の人に融資するという仕組みです。つまり、約1,700ドルの初期投資で、この小口融資プログラムを長期的に持続していくことができます。

ソーラーパネルで学校に光を

フィリピン、バレンスエラのカニューメイ国立高校では、間に合わせの容器と石で始業と終業の合図を鳴らし（下の写真）、また生徒たちが灯油ランプの光で勉強をしなければなりませんでしたが。現在は、ロータリー財団の補助金プロジェクトにより10台のソーラーパネルが設置され、太陽光発電を使ってチャイムを鳴らしています。この補助金の申請にあたっては、フィリピンのリツアルセントロ・ロータリー・クラブとの協力の下、サウスエベレット/マキルチオ・ロータリー・クラブ（米国）の会員、マーク・ケンジオレックさんが申請書作成を支援しました。写真と現在の学校を見比べると、学校が一新されたことが一目でわかるとケンジオレックさん話します。



PHOTO BY MARK KENZIOREK

世界で活躍するロータリー

国連の西アジア経済社会委員会へのRI代表を務めるマイケル P. ジェイザー氏と、米州機構へのRI代表であるリチャード S. カーソン氏。ニューヨーク国連本部で開かれた、ロータリー国連デーのパネル討論会にて。



PHOTO BY ALYCE HENSON

ロータリーの 声



PHOTO BY TONY GIBSON

「小規模農家と食品小売店の間に近代的で持続可能な流通・供給システムができれば、政府は道路整備や電力供給といったインフラの改善に力を入れるようになるでしょう」

オーストラリア出身のグローバル補助金奨学生、アレックス・ダリーさん。東ティモールで、民間部門開発プログラムのアドバイザーを務めた経験があり、現在は、オランダのエラスムス大学院へMBA留学中。

18歳未満の子ども10億人以上が、
紛争の影響下にある地域で暮らしています

オウファナさん（左）と夫のビーチ・サビウムさんは、世界で最も地雷の危険が高い国カンボジアで、地雷により足を失いました。地元のキエン・クラン・リハビリセンターは、ソールズバリー・ロータリークラブ（米国コネチカット州）、ロータリー財団補助金、地区資金の支援を受けて地雷被害者のサポートを行っています。



子どもの人権を守る

世界平和とは、単に戦争を終わらせるだけでなく、社会的弱者を含む全人類に安全な生活をもたらすことを意味します。米国バージニア州に本部を置く国際児童保護センターによると、現在、世界で22,000人の子どもが行方不明となっており、5,000人の子どもが性産業の犠牲となっています。

元ロータリー平和フェローのカティア・ジメーロ・ダントスさんは、児童ポルノ、人身売買、誘拐といった犯罪から子どもたちを守るために、ブラジルにある国際児童保護センター支部で働いています。政策担当責任者であるダントスさんは、中南米およびカリブ海地域の各国に赴き、保護法の草案作成を援助する一方、有力証拠を集める方法や、有罪判決を勝ち取る法について、警察や司法関係者を対象に研修を行っています。ここ1年では、インターネットを利用した性犯罪から子どもたちを守ることに力を注いでいます。

ダントスさんの活動は、ロータリーでの経験が土台となっています。ダントスさんは、2007-09年度、「Paul F. and Carolyn C. Rizza」冠名ロータリー平和フェローシップの支援を受け、デューク大学およびノースカロ

ライナ大学チャペルヒル校の平和センターに留学し、国際移住機構での実地研修を通じて、国外移住によるエイズの感染拡大の危険性について調査しました。また、平和フェローになる以前の2005-06年度には、ロータリーの研究グループ交換 (GSE) メンバーとして、ブラジルから米国に派遣されました。

「少しずつ努力を重ねていけば、いつの日か、世界中の子どもたちの人権が守られ、性犯罪や児童労働の犠牲者とならずに、子どもが子どもらしく暮らせる日が来ると信じています」



子どもたちを性的搾取から守るためのカリブ海地域会合にパネリストとして参加した元ロータリー平和フェロー、カティア・ジメーロ・ダントスさん。2011年、ダントスさんは、「外交政策における33歳未満のリーダー」の世界トップ99人の一人に選ばれました。

世界で活躍するロータリー

ノーベル平和賞受賞者のレイマ・ポウィさん (リベリア) が、バンコクで開かれたロータリー世界平和シンポジウムにて、平和に向けた力の結集を平和フェロー、ロータリアン、ロータリー財団学友に呼びかけました。ポウィさんは2003年、長期にわたる悲惨なリベリア内戦を終結させるため、異なる宗教や民族の女性たちを結集しました。



PHOTO BY MONIKA LOZINSKA

ロータリーの 声



PHOTO BY MONIKA LOZINSKA

「ロータリー平和フェローシップは、10年間にわたって紛争解決の推進者を育ててきた確かな実績があります」

アル・ジュビッツ (米国オレゴン州、ポートランド・ロータリー・クラブ会員)
アーチ C. クランフ・ソサエティ会員、ロータリー平和センターの支援者

寛大な寄付があればこそ、
世界の最も緊要なニーズに応える
持続可能なプロジェクトが可能になります



2012年バンコク国際大会で講演するアーチ C. クランフ・ソサエティ会員、ラジャシュレー・ビルラさん

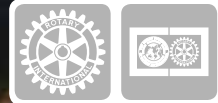


PHOTO BY JEAN-MARC GIBOUX

インドの慈善家が ロータリーのポリオ撲滅活動に さらに100万ドルを寄付

インドのラジャシュレ・ビルラさんは、ポリオ撲滅活動の熱心な支援者です。ビルラさんは、バンコクで開かれた2012年RI国際大会で、ロータリーのポリオ撲滅活動に100万ドルを追加寄付することを発表しました。この寄付を含めると、ロータリー財団のポリオ撲滅キャンペーンに対するビルラさんからの寄付は、合計620万ドルを超えることとなります。

亡き夫、アディティアさんが築いたインド最大のアディティア・ビルラ・グループは、ビジネス誌『フォーチュン』が選ぶ世界トップ500企業に選ばれています。現在、息子のクマール・マ

ンガラムさんが会長となり、ビルラさんは理事を務めています。

カルヤン・バネルジー元RI会長は、ボンベイとムルンドのロータリー・クラブ名誉会員であるビルラさんを、「寛大さ、威厳、思いやりに満ちた人」とであると称えました。「今回の追加100万ドルのご寄付は、ビルラさんの優しさ」と熱意の現れです」

「インドにおけるロータリーのポリオ撲滅活動の成功、そして、政府やWHO、ユニセフ、CDC（米国疾病対策センター）、ゲイツ財団などの取り組みを見れば、残る3カ国からポリオがなくなる日は遠くないでしょう。（中略）人類全体のために、ポリオを過去のものとするのが、私たちの義務なのです」

ロータリーの 声



PHOTO BY ALYCE HENSON

2011-12年度、ロータリー財団のアーチ C. クランフ・ソサエティ（財団に25万ドル以上を寄付した方を対象）に72名の会員が新たに加わり、寄付者の国ごとに入会を祝うための台湾デー、インド・デー、韓国デー（写真左）が開かれました。

「財団は、世界をより良くするために寄付を賢明に生かす責任があります」

ウィリアム B. ボイド、財団管理委員長

ロータリー財団を支える 草の根の支援

ペルーの首都リマでは、飲料水の70%以上をリマック川から得ていますが、この川は、高濃度のカドミウム、銅、亜鉛、ヒ素で汚染されています。

ロータリー財団とパートナー団体は、こうした状況を改善しようと、川沿いの低所得地域に住む5,000世帯に浄水フィルターを提供するプロジェクトを実施しました。また、地元の女性の協力を得て、フィルターの使用方法を住民に指導しました。ロータリーがもたらしたものは、浄水フィルターだけではなく、子どもたちの健康と生活の質の向上であると、地元住民は話します。実際、プロジェクト後には、同地域で病気にかかる子どもの数が大きく減少しました。

年次基金は、ロータリー財団の活動を支える主要な資金源です。寄付された資金が3年間の投資サイクルを経る年次基金では、投資収益が財団の運営と寄付増進の活動に使用さ

れます。また、クラブはこの3年間に持続可能な影響をもたらすプロジェクトを計画することができます。



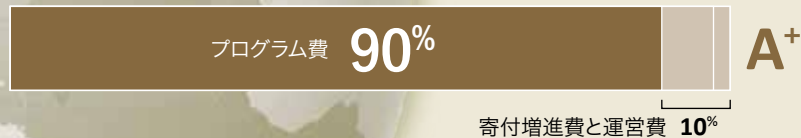
PHOTO BY ALYCE HENSON

安全な水を得られない住民が約800万人いるペルーの首都リマで、財団の補助金を利用して、きれいな水を提供するプロジェクトが実施されました。このような活動を実現するために、年次基金への継続的な寄付と、積極的な財団プロジェクトへの参加が必要とされています。世界をより良くするために地元や海外で行われている幅広い奉仕活動は、ご寄付によって支えられています。

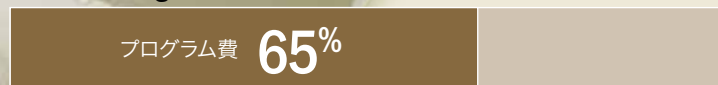
世界で活躍するロータリー

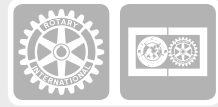
ロータリーのランキング 昨年の記録を基に2012年の人道奉仕団体ランキングが発表され、ロータリー財団は、「American Institute of Philanthropy (米国慈善事業協会)」より「A+」の最高評価を受けました。また、奉仕団体の効率性と財務を評価する「Charity Navigator」と、資金の活用状況を評価する「BBB Wise Giving Alliance」からもそれぞれ最高レベルの評価を得ました。ロータリー財団では、2012会計年度、支出の90%がプログラム活動に充てられ、残る2%が運営費、8%が寄付増進費に充てられました。この割合は、一般に奉仕団体の効率性が良好であるとみなされる65%の基準をはるかに上回っています。

ロータリー財団の資金

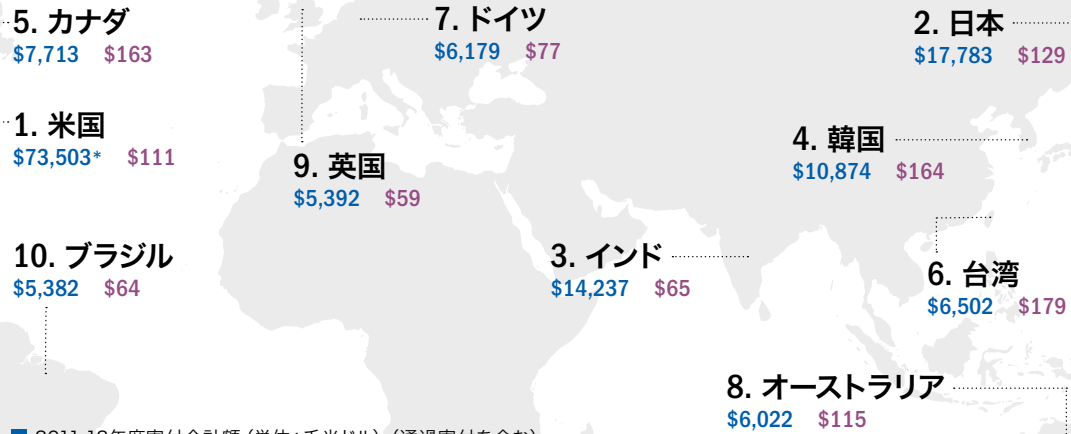


「Wise Giving Alliance」が定めるベンチマーク





年次寄付上位10位の国・地域



■ 2011-12年度寄付合計額 (単位: 千ドル) (通過寄付を含む)

■ 2011-12年度ロータリアン一人あたりの年次寄付 (米ドル)

* 米国の団体であるビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅に授与された一千万ドルの補助金は含まれていません。

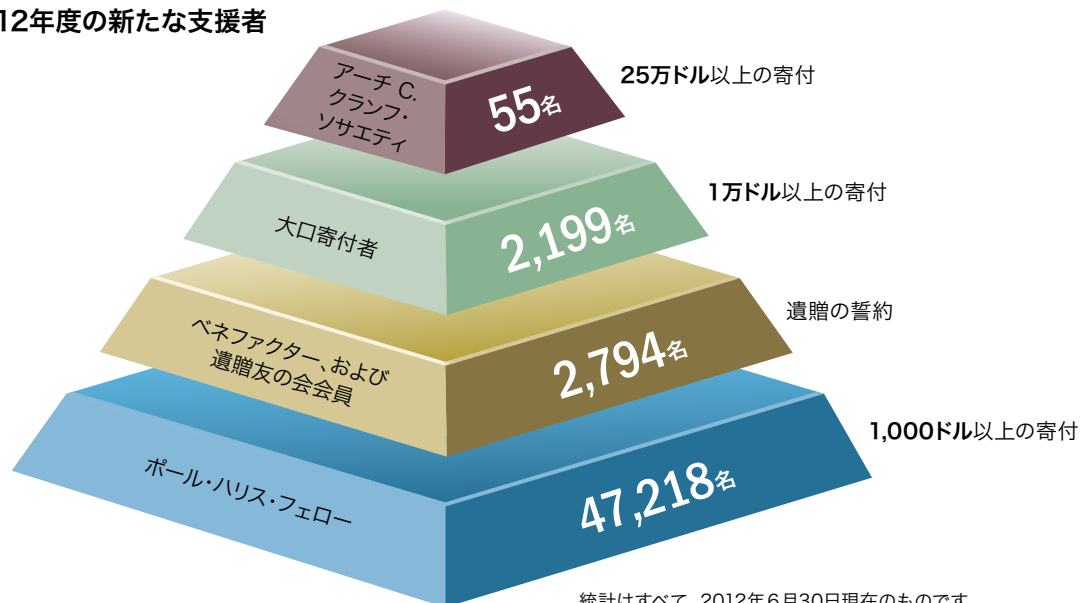
アーチ C. クランフ・ソサエティの新会員

Albert and Virginia Alley Sudhansu and Mina Bhattacharyya Al and Ruth Braswell Jr.+ Patrick W. and Janet R. Carlton Henry Hsi-Shih Chang and Jolly Li-Yueh Ku Rubber Ying-Chuan Chang and Kiko Pi-Yun Lin Paul Chung-Ho Chen and Yun-Li Wang Matt Ming-Hung Chen and Susan Hu Computer Chiu-Lin and Jasmine Chiu Byong Seol Choi and A Jong Lee Deviprasad Gangabux Goenka and Hivdevi Deviprasad Goenka Seung Ryong Han and Hee Jong You R. Lee and Judith A. Harman James R. and Janice E. Heinrich Lawrence W. and Linda R. Jubie J.B. and Marlene Kamdar Habil F. and Nafisa Khorakiwala Steven and Iris Laine Angela Ming-Chu Lu Lee and Steve Chen Tai Lee Dong Kurn Lee and Young Ja Chung May Chin-Mei Lu John H. and A. Rose Moon Sr. Dato' Ng Kim-Poh Amko and Lucille Huang Allen D. and Patsy M. Orr Young Koo Park and Eun Hwa Chang Terry N. and Anne P. Phillips Chuck and Yolanda+ Reinhart Frank H. and Judith H. Rothermel Hiroshi and Suma Shimuta Rajju and Sandra Shroff Surya+ and Foram Varsani Hong-Joo Yoon and Kyung Hee Lee Kyun Kim and Hye Suk Jeong Eung Jong Yoo and Hee Sook Chung In Chul Park and Hai Soon Bae Sang Koo Yun and Eun Sun Yang Yong Keuk Shin

上記は、2011年7月1日～2012年6月30日にアーチ C. クランフ・ソサエティに入会した方です。

+ 故人

2011-12年度の新たな支援者



統計はすべて、2012年6月30日現在のものです。

財務状況

ロータリアンによる「世界をよくする」活動は、
ロータリアンやその他の支援者からの寛大な寄付によって可能となります。





国際ロータリーの収入

RIの本会計年度の収入合計は、会費、RI業務、投資収益を含め、8,270万ドルでした。不安定な世界金融市場のために、RIの投資価値に非実現損益が生じた結果、実際の収入は収入予算を980万ドル下回ると同時に、前年度を2,320万ドル下回りました。

差異に関する説明

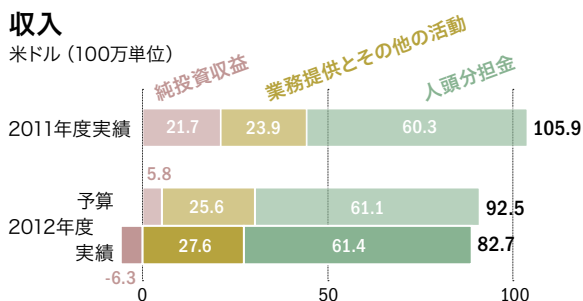
人頭分担金からの収入は、6,140万ドルで、予算通りとなりました。投資損益は630万ドルとなり、これにより予算に対して1,210万ドルの不利益が生じました。一般資金のポートフォリオは、主に非実現損益が生じたことにより4%減となりました。業務提供とその他の活動の収入は2,760万ドルで、予算を200万ドル上回りました。収入は、2011年会計年度と比べて減少しましたが、これは主に投資収益における2,800万ドルの変動によるものでした。業務提供とその他の活動の収入は370万ドル増加しましたが、その主な理由としてバンコク国際大会への出席インセンティブが挙げられます。人頭分担金による収入は、一人あたり1ドルの増額により、110万ドル増加しました。

国際ロータリーの支出

RIの支出総額は9,630万ドルで、予算を80万ドル上回り、前年度と比べて1,620万ドル上回りました。広報とロータリーのブランド強化に関連する戦略的取り組みのための一般剰余金からの支出を含む運営経費は、2012会計年度の計画通りに支出されました。業務提供とその他の活動による支出は2,620万ドルとなり、予算を170万ドル上回りました。バンコク国際大会の出席者は、予算における推定25,000名を上回る33,104名となった結果、収入と支出が比例して増加しました。

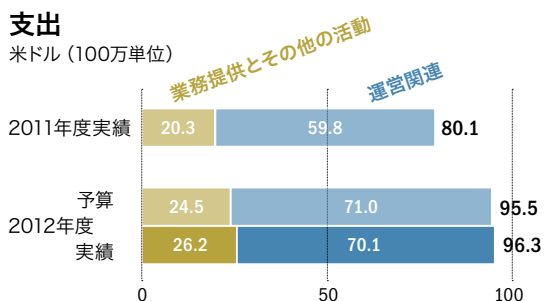
収入

米ドル (100万単位)



支出

米ドル (100万単位)



業務提供とその他の活動

収入	米ドル (100万単位)	支出
国際大会	10.7	10.7
雑誌	6.6	5.3
ワン・ロータリー・センター	5.2	7.0
クラブ保険賦課額 (米国)	1.1	1.1
出版物、事務用品	0.9	1.3
免許料、徽章使用料、その他の収入	3.1	
財団への寄付、その他		0.8

運営関連の経費

米ドル (100万単位)	支出
コミュニケーション、広報	14.2
地区ガバナー	9.7
情報サービス	8.8
国際事務局	7.1
理事、役員、委員会	6.4
世界本部の管理	5.8
財務	5.4
国際協議会	5.3
会員業務	4.2
プログラム、会合	3.2



会長の経費

RIは、会長、会長エレクト、会長ノミニーに対して（または会長、会長エレクト、会長ノミニーに代わり）、それぞれ794,000ドル、473,000ドル、135,000ドルを支払いました。これらの経費には、旅費（航空運賃、ホテル、食事）、RIテーマ、広報、家賃、引越し費用が含まれています。RIは、会長室の運営に583,000ドルを支払いました。

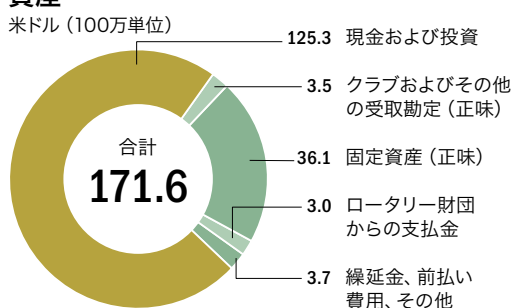
理事会の経費

RIは理事会に代わり、686,000ドルを支払いました。これらの経費には、理事会会合、RI国際大会、国際協議会、会長主催の会合、ロータリー研究会への旅費、およびクラブへの旅費が含まれます。

国際ロータリーの財務状況

RIの純資産は、支出が収入を1,360万ドル上回り、RIの年金債務が1,050万ドル増加した結果、2,410万ドル減少しました。

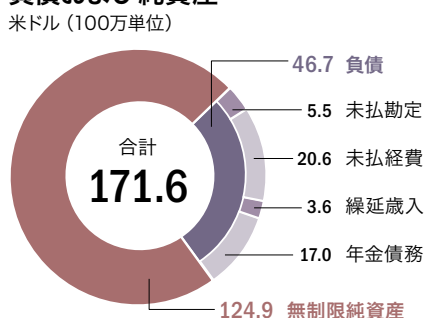
資産



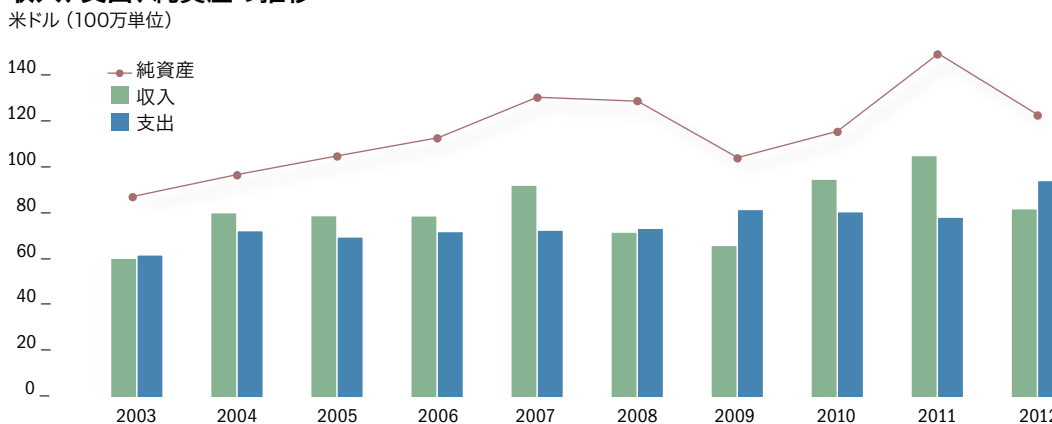
最近の傾向

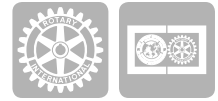
2003会計年度は、低迷する投資環境が主な原因となり、支出が収入を上回りました。2004～2007会計年度にかけては、投資収益の成長、会費の増加、適切な支出管理によって、収入が支出を上回りました。2008～2009会計年度にかけて、不安定で低迷する投資環境が主な原因となり、支出が収入を上回りました。2010～2011会計年度にかけて、投資収益が回復したほか、会費と人頭分担金による安定した収入とさまざまな経費削減が功を奏し、収入が支出を上回りました。

負債および純資産



収入、支出、純資産の推移





投資

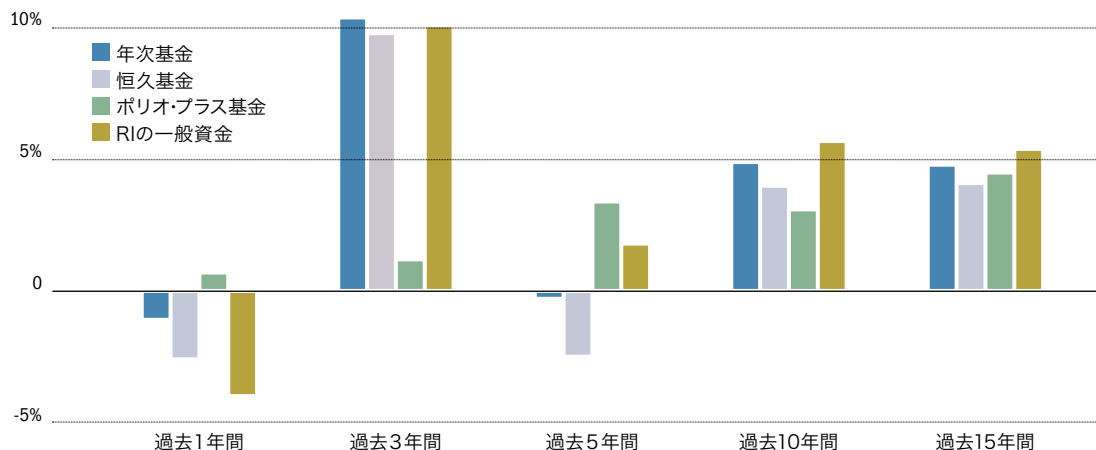
2012会計年度の金融市場は頻繁に変動し、結果的に米国株は4%の上昇、非米国株は14.6%の下落、債権は7.5%上昇しました。ロータリー財団の純投資損益は1,510万ドルで、そのうち800万ドルは、各国通貨から米ドルへの換金に関連する損益によるものです。国際ロータリーの同時期における純投資損益は630万ドルで、そのうち230万ドルは通貨換算より生じた損益です。ただし、プログラムやその他の経費はグローバルな銀行の口座から当該国の通貨で支払われるため、通貨換算による損失は、実現損益を表すものではありません。

2010会計年度と2011会計年度において、ロータリー財団は、投資収益のうち、財団運営に必要とされる分を超えた収益を利用して5,000万ドルの運営予備金を確保しました。しかし2012会計年度は投資収益が不足したため、この運営予備金から2,090万ドルが財団運営経費に充てられ、年度末の財団の運営予備金は2,910万ドルとなりました。

RIは、2012会計年度の投資収益として560万ドルの予算を立てましたが、投資資金における430万ドルの損益により、1,000万ドルの不利益が生じました。この不足分を補うために、RIの投資収益予備金1,200万ドルから1,000万ドルが使用されました。ロータリーの予備金の方針により、財団とRIは通常通りに運営することができ、プログラム経費の削減が回避されています。

慎重な投資管理の慣習に従い、財団とRIは、米国および米国外株式、世界各国の債券、ヘッジファンドを含むさまざまなポートフォリオに分散投資しています。財団はまた、不動産、未公開株といった代替資産にも投資しています。ロータリーの投資プログラムは、管理委員3名、投資を専門とするロータリアン6名、RI財務委員会から成る財団投資諮問委員会により監督されています。ロータリーはまた、投資問題について両組織に助言を提供し、投資状況を見守る独立した投資顧問を起用しています。ロータリーの資金はすべて、経験豊かなプロの投資会社によって運用されています。

過去数年度における投資利益率 (%)





財団収入の部

寄付

ロータリー財団には、前年度を上回る惜しみない寄付が、ロータリアンから引き続き寄せられました。年次基金には、前年度に続き「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」への積極的な寄付に加え、1億1,010万ドルの寄付がありました。「毎年あなたも100ドルを」の目標（一人あたり100ドルの寄付）を上回った国や地域は36に上りました。恒久基金への寄付額は1,810万ドルで、2011会計年度の1,630万ドルから11%の増加となりました。ポリオ・プラス基金には、世界ポリオ撲滅活動を支える4,500万ドルの寄付が寄せられました（そのうち1,000万ドルはゲイツ財団からの寄付）。

財団支出の部

プログラムの支出

プログラムの支出は、主にポリオ・プラス・プログラム補助金が2,720万ドル増加したことに伴い、前年度より3,540万ドルの増加となりました。未来の夢試験段階の2年目におけるグローバル補助金と新地区補助金の支出総額は1,950万ドルでした。2012会計年度のプログラム支出総額は、ポリオ・プラス・プログラムへの1億500万ドル、グローバル補助金および新地区補助金への1,950万ドル、人道的プログラムへの5,520万ドル、教育的プログラムへの2,220万ドル、その他のプログラムへの210万ドルを含む、2億400万ドルでした。

2012会計年度の寄付増進関連の支出は、1,830万ドルでした。これには、寄付増進と寄付者認証における人件費、サービス業務、通信費、出版物、広報、備品、コンピューター・サポート、法律顧問、認証品目などが含まれます。

2012会計年度の一般管理運営費は、510万ドルでした。これには、人件費、サービス業務、通信費、コンピューター・サポート、備品、法律顧問、監査手数料、さらに財団の資産を管理するために管理委員会に提供された業務の経費（事務的支援、会合費用、旅費）が含まれます。また一般管理運営費には、管理委員会の旅行関連経費（航空運賃、ホテルおよび食事）100万ドルも含まれます。これらの旅費は、ロータリー財団のプログラム推進、寄付およびロータリー財団の認識の増進、国際協議会、RI国際大会、管理委員会会合、およびロータリー研究会への出席に伴い生じたものです。

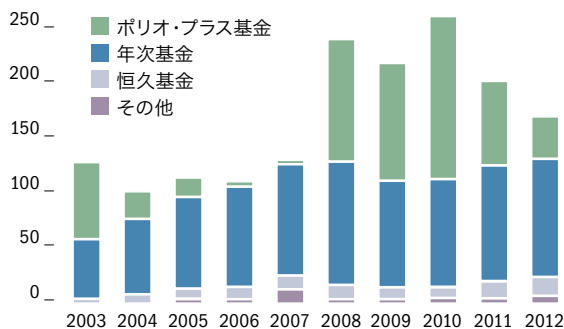
過去10年間、財団の支出総額の88パーセントはプログラム経費で、これは最低65パーセントという業界基準と比べて好ましいものとなっています。

財団の純資産

財団の純資産は、主に純投資損失と、プログラムおよびプロジェクトへの純資産の計画的利用により、前年度と比べ6,110万ドルの減少となりました。

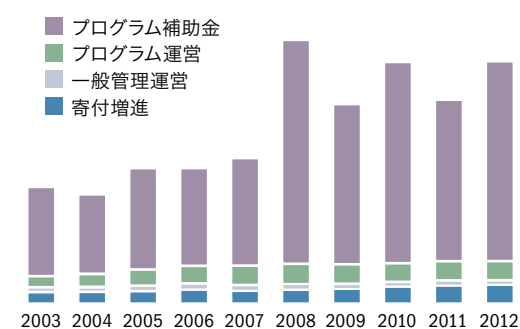
寄付

米ドル (100万単位)



プログラムの支出

米ドル (100万単位)



ロータリー財団の財務報告

国際ロータリーのロータリー財団会計年度決済報告

米ドル (100万単位)

	2011-12	2010-11	2009-10	2008-09	2007-08
収入					
寄付¹					
年次基金	\$ 110.1	\$ 107.7	\$ 100.4	\$ 99.3	\$ 114.8
恒久基金	18.1	16.3	10.5	11.6	13.9
ポリオ・プラス基金	45.0	78.9	151.6	109.7	114.1
災害復興/使途指定冠名寄付	5.2	4.1	2.4	1.1	0.5
使途推奨冠名基金	2.7	1.5	3.6	2.1	2.4
寄付合計	181.1	208.5	268.5	223.8	245.7
投資収益とその他の活動					
年次基金	(10.8)	74.4	36.9	(106.2)	(30.4)
恒久基金	(4.7)	43.1	15.2	(59.3)	(18.5)
ポリオ・プラス基金	0.8	1.2	1.8	2.1	4.7
その他	(0.1)	0.8	0.4	(0.5)	(0.1)
投資収益 (損失) 合計およびその他の活動	(14.8)	119.5	54.3	(163.9)	(44.3)
収入合計	\$ 166.3	\$ 328.0	\$ 322.8	\$ 59.9	\$ 201.4
プログラム補助金、プログラム運営費および経費					
プログラム補助金					
人道的補助金プログラム	\$ 48.4	\$ 40.5	\$ 44.2	\$ 38.2	\$ 56.7
教育的プログラム	16.9	16.6	23.5	22.0	23.4
ポリオ・プラス・プログラム	102.8	75.6	118.1	87.8	126.7
グローバル補助金	10.6	9.3			
新地区補助金	5.1	6.1			
その他のプログラム	1.9	2.1	1.2	1.0	1.2
プログラム補助金合計	185.7	150.2	187.0	149.0	208.0
プログラム運営					
人道的補助金プログラム	6.8	6.9	7.5	9.4	10.2
教育的プログラム	5.3	5.2	5.9	6.6	7.1
ポリオ・プラス・プログラム	2.2	2.3	2.1	2.2	2.1
グローバル補助金	3.8	3.5			
新地区補助金	-	0.2			
その他のプログラム	0.2	0.3	2.4	0.4	0.1
プログラム運営費合計	18.3	18.4	17.9	18.6	19.5
プログラム補助金、運営費合計	204.0	168.6	204.9	167.6	227.5
運営費					
寄付増進	18.3	17.5	16.5	14.5	13.6
一般管理運営	5.1	5.7	5.2	5.7	6.3
運営費合計	23.4	23.2	21.7	20.2	19.9
プログラム補助金、プログラム運営費および経費の合計	\$ 227.4	\$ 191.8	\$ 226.6	\$ 187.8	\$ 247.4
年金関係の調整額 ²	-	1.3	(0.6)	(1.9)	(0.3)
財団純資産の増加 (減少)	\$ (61.1)	\$ 137.5	\$ 95.6	\$ (129.8)	\$ (46.3)



	2011-12	2010-11	2009-10	2008-09	2007-08
ロータリー財団の資産					
現金、誓約、その他の資産	\$ 57.5	\$ 59.5	\$ 59.9	\$ 43.2	\$ 42.8
投資					
現金投資および短期投資	38.7	38.0	16.3	19.7	16.7
債権	194.3	285.4	268.6	226.3	234.2
株式	203.8	271.5	283.2	261.2	383.6
国際分散投資	104.8	15.8			
代替的投資	186.1	153.5	78.9	81.0	124.2
金利分離同意	28.5	28.8	24.4	22.8	27.3
投資合計	756.2	793.0	671.4	611.0	786.0
資産合計	\$ 813.7	\$ 852.5	\$ 731.3	\$ 654.2	\$ 828.8

ロータリー財団の負債および純資産

負債					
未払いのプログラム補助金	\$ 57.2	\$ 37.3	\$ 51.5	\$ 72.5	\$ 115.7
未払勘定と見越し経費	22.6	20.2	22.3	19.8	21.4
負債合計	79.8	57.5	73.8	92.3	137.1
純資産³					
年次基金	373.1	397.9	329.1	310.1	434.3
ポリオ・プラス基金	99.1	140.5	130.0	77.4	42.7
恒久基金	248.5	241.5	187.2	168.0	207.9
災害復興/使途指定冠名寄付	4.1	6.1	2.1	0.3	0.7
使途推奨冠名基金	9.1	9.0	9.1	6.1	6.1
純資産合計	733.9	795.0	657.5	561.9	691.7
負債および純資産合計	\$ 813.7	\$ 852.5	\$ 731.3	\$ 654.2	\$ 828.8

通過寄付

マッチング・グラント	\$ 11.6	\$ 11.2	\$ 16.1	\$ 15.1	\$ 18.5
グローバル補助金	2.2	1.9			
ポリオ・プラス・パートナー	-				4.4
その他	-	0.2	0.5	0.5	0.7
通過寄付合計	\$ 13.8	\$ 13.3	\$ 16.6	\$ 15.6	\$ 23.6

1 通過寄付は含まれていません。これらの資金は、寄付者認証のために財団に一時留まり通過しますが、米国の会計基準に従い、寄付として財務報告書に記載されることはありません。

2 米国会計基準では、退職年金資産の公正価額が退職年金の累積給付義務と異なる場合には、年金関連の調整を行うよう義務づけています。国際ロータリーは、米国の財務会計基準第715号に従い、財団の給与経費に比例した配分を行っています。

3 純資産とは、組織の合計資産と負債の差額です。

国際ロータリーの使命は、
他者に奉仕し、高潔性を推進し、
事業と専門職および
地域社会のリーダーの間の親睦を通じて
世界理解、親善、平和を推進することです。

2011-12年度国際ロータリー理事会

会長

カルヤン・パネルジー (インド)

会長エレクト

田中作次 (日本)

副会長

ノエル A. バジヤット (米国)

財務長

エリオ・チェリニ (イタリア)

RI理事

ホゼ・アントニオ F. アンティオリオ
(ブラジル)

ケネス R. ボイド (米国)

ヤーシュ・バル・ダス (インド)

エリザベス S. デマレイ (米国)

ケネス W. グラボー (米国)

スチュアート B. ヒール

(ニュージーランド)

アラン O. ジャガー (英国)

ポール・ニフ (オランダ)

近藤雅臣 (日本)

バリー・マシソン (ノルウェー)

シェカール・メータ (インド)

サムエル F. オオリ (ウガンダ)


朴 柱寅 (韓国)

ケネス M. シュパート・ジュニア (米国)

ジョン C. スマージ (米国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (米国)



国際ロータリーのロータリー財団の使命は、
ロータリアンが、健康状態を改善し、
教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、
世界理解、親善、平和を
達成できるようにすることです。

「End Polio Now (今こそポリオ撲滅のとき)」のメッセージが
投射されたパキスタンのカラチホール

2011-12年度ロータリー財団管理委員会

管理委員長

ウィリアム B. ボイド (ニュージーランド)

管理委員長エレクト

ウィルフリッド J. ウィルキンソン (カナダ)

副管理委員長

サム・オグズエト (ガーナ)

管理委員

裴 渡 (韓国)

スティーブン R. ブラウン (米国)

ジョン F. ジャーム (米国)

アントニオ・アラジェ (ブラジル)

リン A. ハモンド (米国)

謝 三連 (台湾)

ジョン・ケニー (スコットランド)

李 東建 (韓国)

アショク M. マハジャン (インド)

アン L. マシューズ (米国)

小沢一彦 (日本)

イアン H.S. ライズリー

(オーストラリア)

事務総長

ジョン・ヒューコ (米国)



表紙

ポリオの予防接種を受けてから路上に
集まった子どもたち (インド)

PHOTO BY RAJESH SINGH



ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org/ja